

第101号/ ふじのくに静岡県



# 消防学校 ニュース



令和元年12月号

## 警防科(第14期)

## 変革せよ！ 変革を迫られる前に

11月12日(火)～11月27日(水)の实质12日間、警防科を開催し、県内16消防本部から小隊長クラスの職員38人が参加しました。近年における建築様式等の変化に伴い、建物火災時には屋内進入を強いられることが増加しており、昨年度は消防官の殉職という最悪の事故も連続して発生しました。

このことから、小隊を統制する隊長クラスの火災対応能力の向上が喫緊の課題であると考え、今年度は火災業務に特化した実践的な専門教育を行いました。

(担当教官)

消防業務の中で最大最重要任務である「火災現場の最先着隊における人命救助」を迅速・的確に行えるスキルを身につけることをコンセプトとし、今年度、導入された街区訓練施設(ファイヤーベース)にて、訓練漬けの日々を過ごしました。入校生は、訓練が進むにつれ、B(建物構造)ーS(煙)A(空気の流れ)H(熱)F(炎)、建築様式、生活様式や時間帯等からの的確に状況評価を行い、最優先検索箇所や火災室等を特定し、迅速な人命救助や注水技術を使い分けた効果的な消火活動を実施することができました。各所属に帰任した修了生の皆さんには、警防科で習得した知識や技術を、世代を超え多くの職員を対象としたフィードバックの場を積み重ねていただけることに期待します。



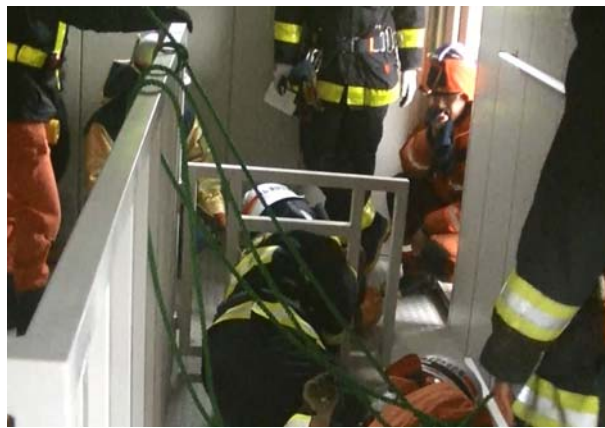
火災対応能力(専用住宅区画内火災想定訓練)



火災想定指揮連携訓練(初級幹部科合同)



アイアンツールによる強制ドア開放訓練



緊急時火災対応(配線→フルリムーバブル)

## 初級幹部科(第21期)

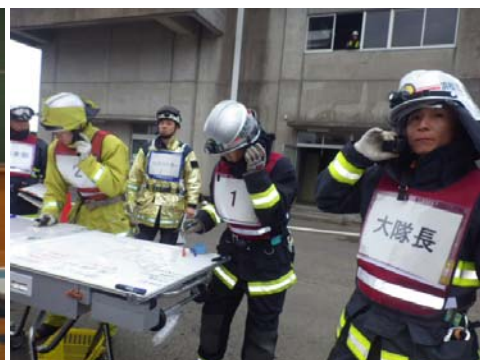
11月11日(月)～11月22日(金)の実質10日間、初級幹部科を開催し、県内8消防本部から組織の要を担う10人が参加し、消防時事、人事業務管理、安全管理等に係る講義や課題研究発表、火災を想定した指揮訓練などの教育訓練を行いました。

また、11月18日(月)には広島から(一社)ボトムアップパーソンズ協会代表理事の畑喜美夫氏を講師として迎え『ボトムアップ指導技法』を実施しました。畑氏によると、「指導者は教えるのではなく、ファシリテーターに徹し、常に職員のモチベーションを向上させるように指導することが重要。」だと話されました。

畑氏の『ボトムアップ理論』は、現在、教育界で広く用いられるようになっており、一般企業や省庁においても、必要不可欠な内容であると感じました。



ボトムアップ指導技法：最前列中央が畑講師



警防科合同指揮連携訓練風景

## 指令センター員講習(第2回)

11月5日(火)～11月7日(木)の3日間、指令センター員講習を開催し県内の消防本部(局)から14人の消防指令センター業務の従事者が参加しました。

高齢化により救急出動件数が年々増加する中、通信指令の役割の重要性の認識が高まっています。いかにして救急業務を安定的に提供して、救命率の向上を図るかが消防組織としての課題の一つになっています。このような現状も踏まえ、消防の窓口とも言える「通信指令員」の知識・技術の向上を図るため、本校では昨年度から「指令センター員講習」を実施しています。

(担当教官)

本講習は、今年で2年目の教育訓練となります。

今年度は、本校にて実施している教育内容を各消防本部に知っていただくことを目的として、「医学教育・模擬訓練」の科目において合同聴講を行い、多くの方に参加していただきました。

今後も各消防本部と調整・役割分担をしながら、指令センター業務の充実・強化を図っていきたく思います。



口頭指導・緊急度判定を交えた模擬訓練

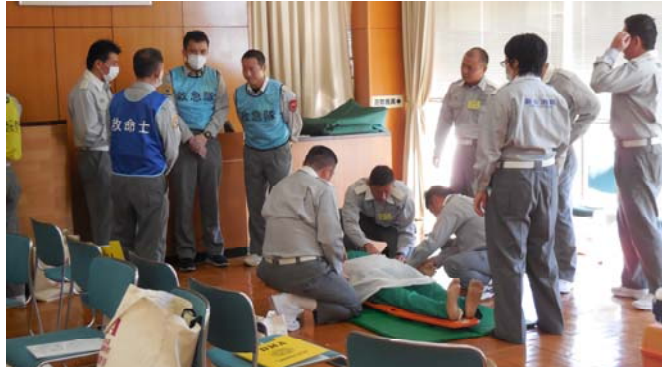


受講生一同

## 処置拡大追加講習（第5回）

11月5日（火）～11月8日（金）の4日間、処置拡大追加講習を開催し県内15消防本部から92人の救急救命士が参加しました。

県MC医師や指導救命士等の指導の下、「血糖測定と低血糖発作症例へのブドウ糖溶液の投与」や「心肺機能停止前の静脈路確保と輸液」の講習を受講しました。本講習修了後、県MCで認定されると拡大された2行為（処置）を行うことができます。



## 民間防火組織指導者消防学校体験入校

11月29日（金）、静岡県女性防火クラブ連絡協議会（鈴木政子会長）が主催する「民間防火組織指導者消防学校体験入校」が行われました。

これは県内の民間防火組織（幼年・少年消防クラブ、女性防火クラブ等）の指導者や防火協力団体役員等を対象に実施しているもので、当日は78の方が参加しました。

消防学校教官が各訓練項目の担当教官を務め、搬送訓練、応急手当、放水訓練など、7つの訓練に挑戦していただきました。参加者からは「建物への放水等いろいろな体験が出来て、とても充実していた。」との感想をいただきました。



応急手当



放水訓練

## 消防団員災害対策講習（第16回）

11月17日（日）に災害対策講習を開催し、県内の消防団から71人の消防団員が参加しました。午前には㈱タフ・ジャパンの鎌田修広氏による座学（消防メンタル及び日頃からできる防災対策）、午後にはドローン操作研修（基礎知識及び操作）と救助救出訓練を実施しました。



鎌田講師による座学

## 消防団員指揮幹部科現場指揮課程(第6期)

11月9日(土)～11月10日(日)に指揮幹部科現場指揮課程を開催し、県内の消防団から78人の消防団員が参加しました。災害現場等においてリーダーシップを発揮し、小隊、中隊の指揮を執り、自身と仲間の安全を確保しながら、任務を的確に遂行できるよう、座学、実科訓練等を実施しました。

(担当教官)

座学では講師に豊橋市の松下消防団長、静岡大学の牛山教授を招き御講義をいただきました。訓練では大規模災害対応シミュレーション、重量物除去、パッキング等のほか、新たにHUG、傷病者の緊急度判定要領を実施しました。休日入校のなか熱心に学ぶ姿を見て、指導する側の気持ちも昂ぶり充実した研修となりました。



HUGの様子

## 女性消防団員研修会(第2回)

11月24日(日)に女性消防団員研修会を開催し、県内の消防団から43人の女性消防団員が参加しました。この研修会では実科訓練で屋内消火栓の取扱い、放水やドローンの操作を体感して消防団員の心構えと災害時に必要な知識・技術を習得して、住民の防災指導等今後の消防団活動に役立ててもらうことを目的に実施しました。

(担当教官)

火災の性状と救急の座学、3つの訓練を実施していただき女性消防団員の方々の防災に関する知識習得に対する意欲と消防団員である自覚と誇りを持って活動していることが伝わってきました。

## 塩崎ぜっ校長

ワンチョット(チョイネタ)コーナー

今月のつぶやき



消防学校裏のみかん畑

興津のみかん

消防学校のバス停近くに無人売店がある。着任間もない4月、毎日バスで一緒になる女性が教えてくれた。「ここは断然安くて美味しいよ」かんきつ類を中心に果物が売られている。甘夏4個100円、柿(渋抜きか?)4個100円、みかん(6～7個)100円(安っ!)すべて甘くて美味しい。今まで期待を裏切られたことは一度も無い。きっと、とってもいい人が丁寧に育てているに違いない。丁寧に作り育てることは、人づくりにも通じるものがある(と感じる)。

いろいろなところに勉強になる教材がある。感性を研ぎ澄ませる、というほど大袈裟ではないが、キョロキョロ見ていると、小さいながらもいろいろな発見や感動があるものである。

おまけ「ゼッコウチョウをさがせ！」

今月号の写真に私、校長はいくつ写っているのでしょうか?

正解は……0枚 さみしい～ 読んでくださっている皆様、良いお年をお迎えください。



編集・発行/ 静岡県消防学校 〒424-0211 静岡市清水区谷津町 1-577-1  
☎ 054-369-1190 FAX: 054-369-1197 E-mail: [fd-school-somu@pref.shizuoka.lg.jp](mailto:fd-school-somu@pref.shizuoka.lg.jp)

★「消防学校ニュース」は静岡県ホームページの消防学校の案内・紹介のところに掲載しています。過去の分を含め、どうぞ御覧ください。

静岡県消防学校

検索

